

平成29年12月期 第3四半期 決算説明資料

平成29年11月14日
株式会社ジェイホールディングス
(東証JASDAQ 2721)
<http://jholdings.co.jp>

1 平成29年12月期 第3四半期決算概要 3

会社概要

平成29年12月期 第3四半期ハイライト

四半期損益計算書

四半期貸借対照表

2 当四半期の成果、及び今後の課題と対応 12

全社

スポーツ事業 . . . 株式会社ジェイスポーツ

不動産事業 . . . 株式会社シナジー・コンサルティング

Web事業 株式会社フクロウ

1. 平成29年12月期 第3四半期決算概要

会社概要



| | |
|---------|--|
| 本 社 | 株式会社ジェイホールディングス |
| 本社所在地 | 東京都港区新橋五丁目14番10号 新橋スクエアビル5階 |
| 設 立 | 平成 5年 1月 25日 |
| 代 表 者 | 代表取締役社長 上野 真司 |
| 資 本 金 | 3 億 6,141万円 (平成 29年 9月末時点) |
| 役 職 員 数 | 41名 (平成 29年 9月末時点 連結子会社を含む) |
| 事 業 内 容 | スポーツ事業 Web関連事業 不動産事業 |
| 連結子会社 | 株式会社ジェイスポーツ 株式会社フクロウ 株式会社シナジー・コンサルティング |

1 外部環境

- ✓ 当第3四半期のわが国経済は、経済政策や金融緩和策を背景に緩やかな回復基調が継続
- ✓ 不動産業界においては空室率、投資利回りの低位安定、賃料水準の上昇傾向が継続し堅調な展開
- ✓ インターネット業界においては、広告市場の拡大が継続、クラウド市場も今後の成長に期待

2 当社グループのセグメント概況

✓ スポーツ事業

東山田店は、レンタルコート稼働率上昇により増収増益。

つかしん店の顧客基盤の拡大が急務。

✓ 不動産事業

前期より開始した一棟物不動産販売事業に加え、売買仲介事業も強化したことにより、増収基調を維持しながら（セグメント売上高2,558百万円、対前年同期比881.9%）

前四半期の課題であった収益化を実現（セグメント利益117百万円、対前年同期比27.1倍）

✓ Web事業

美容医療に関するポータルサイト事業は、引き続き安定的な売上、高い収益性を確保。

(1) 四半期損益計算書【連結】



**不動産事業の圧倒的な増収増益により、
対前年同期比で売上高が約4倍、営業利益が約29倍。**

(単位：千円)

| | 平成28年 第3四半期 連結累計期間 | | 平成29年 第3四半期 連結累計期間 | | |
|-------|-----------------------|--------|-----------------------|--------|--------|
| | 金額 | 対売上比 | 金額 | 対売上比 | 対前年同期比 |
| 売上高 | 646,033 | 100.0% | 2,744,943 | 100.0% | 424.9% |
| 売上原価 | 468,746 | 72.6% | 2,317,948 | 84.4% | 494.5% |
| 売上総利益 | 177,286 | 27.4% | 426,994 | 15.6% | 240.9% |
| 販管費 | 174,167 | 27.0% | 336,330 | 12.3% | 193.1% |
| 営業利益 | 3,119 | 0.5% | 90,664 | 3.3% | 29.1倍 |

(2) 四半期損益計算書【株式会社ジェイスポーツ】



**スポーツ事業：東山田店は増収増益を達成
つかしん店の収益基盤改善が継続課題**

(単位：千円)

| | 平成28年 第3四半期 累計期間 | | 平成29年 第3四半期 累計期間 | | |
|-------|---------------------|--------|---------------------|--------|--------|
| | 金額 | 対売上比 | 金額 | 対売上比 | 対前年同期比 |
| 売上高 | 79,621 | 100.0% | 77,157 | 100.0% | 96.9% |
| 売上原価 | 56,472 | 70.9% | 54,343 | 70.4% | 96.2% |
| 売上総利益 | 23,148 | 29.1% | 22,813 | 29.6% | 98.6% |
| 販管費 | 3,124 | 3.9% | 4,697 | 6.1% | 150.4% |
| 営業利益 | 20,024 | 25.1% | 18,115 | 23.5% | 90.5% |

(3) 四半期損益計算書【株式会社シナジー・コンサルティング】



不動産事業：圧倒的な増収基調を維持しつつ、営業利益は期間最高益を更新

(単位：千円)



| | 平成28年 第3四半期 累計期間 | | 平成29年 第3四半期 累計期間 | | |
|-------|---------------------|--------|---------------------|--------|--------|
| | 金額 | 対売上比 | 金額 | 対売上比 | 対前年同期比 |
| 売上高 | 290,091 | 100.0% | 2,558,376 | 100.0% | 881.9% |
| 売上原価 | 276,325 | 95.3% | 2,232,812 | 87.3% | 808.0% |
| 売上総利益 | 13,766 | 4.7% | 325,563 | 12.7% | 23.6倍 |
| 販管費 | 9,439 | 3.3% | 208,503 | 8.1% | 22.1倍 |
| 営業利益 | 4,326 | 1.5% | 117,059 | 4.6% | 27.1倍 |

(4) 四半期損益計算書【株式会社フクロウ】



Web事業：安定収入と高収益性を確保、新規分野への参入を準備

(単位：千円)

| | 平成28年 第3四半期 累計期間 | | 平成29年 第3四半期 累計期間 | | |
|-------|---------------------|--------|---------------------|--------|--------|
| | 金額 | 対売上比 | 金額 | 対売上比 | 対前年同期比 |
| 売上高 | 108,321 | 100.0% | 109,409 | 100.0% | 101.0% |
| 売上原価 | 31,400 | 29.0% | 30,792 | 28.1% | 98.1% |
| 売上総利益 | 76,920 | 71.0% | 78,617 | 71.9% | 102.2% |
| 販管費 | 6,675 | 6.2% | 9,029 | 8.3% | 135.3% |
| 営業利益 | 70,245 | 64.8% | 69,587 | 63.6% | 99.1% |

(5) 四半期貸借対照表【連結】



利益額の増加に伴い、純資産額、自己資本比率が大幅に上昇
財務体質の改善が急速に進行中

(単位：千円)

| | 前期 平成28年9月30日 | 当期 平成29年9月30日 | 対前年 9月末比 | | 前期 平成28年9月30日 | 当期 平成29年9月30日 | 対前年 9月末比 |
|------|------------------|------------------|-------------|------|------------------|------------------|-------------|
| 流動資産 | 151,445 | 255,772 | 168.9% | 流動負債 | 126,965 | 145,955 | 115.0% |
| 固定資産 | 78,560 | 129,925 | 165.4% | 固定負債 | 68,928 | 12,270 | 17.8% |
| 資産合計 | 230,006 | 385,697 | 167.7% | 負債合計 | 195,893 | 158,226 | 80.8% |
| | | | | 純資産 | 34,112 | 227,471 | 666.8% |

2. 当四半期の成果、及び今後の課題と対応

1

GC注記の記載解消を実現

平成27年12月期第2四半期 決算短信より「継続企業の前提に関する重要事象等」、及び「継続企業の前提に関する注記」の記載を実施

⇒ GC注記の記載解消を当期の最重要課題として認識

収益部門の各セグメントにおいて

✓ 営業利益、経常利益、当期純利益の黒字幅の拡大

全社ベースにおいて

✓ 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の黒字化

✓ 営業キャッシュ・フローの黒字化

✓ 自己資本比率改善を含む財務体質の改善

を実現した結果、

平成29年8月14日付『「継続企業の前提に関する重要事象等」の解消に関するお知らせ』にて公表の通り、当社グループにおいては、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しないものと判断し、「継続企業の前提に関する重要事象等」、及び「継続企業の前提に関する注記」の記載をいずれも解消

1 当四半期の成果

- ✓ 「東山田店」は、レンタルコート稼働率上昇により前年同期比増収増益を実現
- ✓ 一方「つかしん店」は、レンタルコート稼働率下落により前年同期比減収減益
- ✓ 結果、当四半期累計期間も、当セグメントは減収（前年同期比－3.1%）減益（同－9.5%）

2 今後の課題と対応

- ✓ 「つかしん店」において、顧客基盤の拡大を急務として、
スクール会員数、集客の増加を図り、
セグメント収入、収益の改善を目指す

1 当四半期の成果

- ✓ 当四半期会計期間は、買取転売事業において、7件の仕入・販売を行い、598百万円の売上げを達成
- ✓ 同時に不動産売買仲介事業にも注力し、19件の成約に伴い101百万円の売上を計上
- ✓ その結果、当四半期累計期間において、当セグメントの売上高2,558百万円、営業利益117百万円と過去最高の期間売上、及び営業利益を実現

2 今後の課題と対応

- ✓ 金融機関との連携の強化、人員補強による営業体制の強化に伴い
案件件数、成約件数の増加を図る
- ✓ 物件の仕入、及び販売ルートが多様化を図るために、同業他社や不動産ポータルサイトとの連携を推進し、
売上高、利益額ともに上方修正を目指す

1 当四半期の成果

- ✓ 当四半期は引き続き美容医療分野を対象としたポータルサイトの運営により安定した売上高、及び利益率の高い収益を確保

2 今後の課題と対応

- ✓ （継続課題1）上記美容医療情報ポータルサイトを活用した広告モデルによる外部収益源の確保とともに、美容医療に近接する分野を対象とした情報サイトへの水平展開
- ✓ （継続課題2）当社不動産事業部門と連携した不動産関連情報提供のためのWebアプリ開発、運営による早期事業化の実現



【将来見通しに関する注意事項】

本資料には、株式会社ジェイホールディングス及び子会社の将来についての計画、予測を含む記載が含まれています。これらの計画、予測は、リスクや不確定要素を含んでいることから、実際の業績は様々な要素により当社の計画、予測と大きく異なる可能性があります。

【本資料に関するお問合せ】 株式会社ジェイホールディングス 管理本部

TEL:03-6430-3461 E-mail:info@jholdings.co.jp